瀬戸内彷徨漫遊記

～鑑賞とお湯と坂の国～

これは、今までで一番の贅沢で壮大な、まさに『放浪』の旅・・・

放浪記第3弾。決行日は今は去る2006年11月13日＆14日。
事の発端はさらにひと月さかのぼる、他愛もないメール。

「本場讃岐のうどんを食ってみたいなー」
「実行するならばぜひ呼んでくださいねー！！！！　楽しそうですー♪」

え。ホントにコレで実現しちゃいました（笑）

讃岐＝うどんの国＝香川県。
ココは広島県。
遠いです。海の向こうです。そんな目的地に向けて立てた計画。それは――

決行日と出発時間のみ。　（笑）

この壮大でバカらしい？旅に一緒に行こうなんていう人間が他に見つかるわけもなく（というか、口だけで探してないw）、
最少決行人数にてあとは野となれ山となれ。。。と、まさしく放浪の旅に出たのでありました。

今回の旅人は、発案者にして運転手*執事リチャード（以下：リ）と、
助手席に座って旅を楽しむだけの姫（苦笑）*管理人ころうつかさ（以下：つ）です。
そうです。アリスやトキコではありません。
なので今回の写真には、偶然通りかかった人以外、誰も写りこんでいません（苦笑）
さらにいうと、**肝心なところの写真がありません**。
軽くダメダメな旅ですが、放浪度は3倍でお届けいたします。

それでは、36時間耐久旅行の幕開けでございます******

――決行の朝。
私は『姫役』ということで、優雅に『もっと脳トレ』（by-N-DS）をしながら執事の迎えを待ちます（笑）
午前10時。執事のお迎えが着き、いざ出発！　一路、東へと進路を取り、まず向かったのが…

つい15分前までラジオ中継をしていた現場（笑）

リ「さすがにもうおらんかー（苦笑）」
つ「みたいですなぁ（笑）」

ち、近くだったのでつい…。ラジオバカ二人ですw

気を取り直して。
予定通りのICから、ななななんと！　この放浪記シリィズ初の『有料道路』へと進みます！　さすがに高速乗らないと遠方ですから。
うむ。贅沢です（苦笑）
贅沢に進むこと1時間。リチャードの朝食をかねての休憩です。

つ「今から朝ごはんっすか…」

美味しそうな匂いを放つカレーを食べるリチャードを、私はただ見ていました。が、**それが間違いだったのです…！！（悲劇）**
その後も順調に贅沢な道を進み、桃の国（岡山県）に突入。
どこからどうやって海を渡ろうか？　とテキトーに話し合い、結果、岡山市内を抜けてフェリーでうどんの国を目指したわけですが、14時半発のフェリーに乗るまで、コンビニやファミレスの前も沢山通ったのに……！！

困った…！　こんな半端なところでがっつりたべては、目的である本場讃岐のうどんを堪能できないではないかっ！　でもおなかすいた……！！（泣）

――船内にて。
ぼったくりともいえる閉鎖空間特有の、スーパーの倍の値段で売っているどこにでもあるポテチ（季節&地域限定版であることが唯一の救い）をひと袋買いまして、対岸に着くまでちまちまと食べてしのいだしだいでございます。。。
高かったのに、一枚落としちゃったんだよ…。もったいない……。

船に乗った時から、海の向こうに高いビルのある街が見えていました。（注：この写真には写っていません）

リ「あれが高松市？」
つ「ええ？　どっかの島じゃない？」

瀬戸内海は島がたくさんです。ましてや、土地勘のない岡山ー香川間。あいだにどんな島や街があるのか、予備知識はゼロに近い二人です（汗）

つ「まあ、近づけば分かるでしょー」

そんなこんなでまったり船に揺られていると、近づいてきたのはその街そのものでした…！

リ「やっぱりこれが高松じゃったんじゃねー！」

いよいよ最大の目的地、うどんの国（香川県）に入国です！！

さて。上陸したはよいが、執事の勘違いで、現地情報誌すらない状況…。
とりあえず高松駅に向かい、そういうパンフレットはないかと探してみたのですが見つからず、結局駅ビルの本屋さんで→の本をお買い上げです。ポケットやかばんに入る大きさ＆地図つきっていうのがすごくいいかんじです☆

『たまごの天ぷら』というトッピングに心を奪われた私の意見でそのお店を目指し、リチャードたっての希望でバスに乗って移動。
最寄おぼしきバス停からてくてくと見慣れない街を歩き…

辿りついたのは『 **閉 店** 』という容赦ない二文字……。

つ「いーーやーーーー！！！！（泣）」

本をよく見ていなかった自分達が悪いのが一番ですが、本場のうどん屋さんは日の高いうちからさくさくと店じまいをされるところが多いようです。まさに売り切れ御免。。。　そんなこと、他国（県）民はきっと知らない…（泣）
うどんの国へ行かれる方、ご用心です…。

つ「おなかすいたっ！　ひもじいっ！　でも、これ以上ムダ金なんか出せるかー！　もうバスには乗らないっ！　歩く！　遠くても寒くても、ひもじくても歩くっ！！（駄々）」

地下道やアーケード街をうろうろした挙句、結局スタート地点に程近い、ファーストフード店とか惣菜屋さんと言っても差し支えなさそうなうどん屋さんに落ち着くことになりました。

そのうどん屋さんのスタイルは、入口でメニューを決めて注文。お盆にサイドメニューがほしければ取りながら進み、お会計をしてから卓につきます。いわゆるセルフ…ってやつでしょうか。
値段がですね、さすがです。すっごい安いです（きらきら**）　そりゃあ学校帰りの中学生も寄るわな！　コンビニでパン二つ買うより安くて腹にたまるんですもの！（しかもあったかい！）
香川人の主食はうどんといわれるのもうなづけます。下手したらおやつ感覚ですね…！

私が注文したのは『わかめ温たまご』の小。ひもじいのに小？　そうなのです。ハシゴするつもりだったんです。
しかーし。
出てきたのは、広島人感覚では『普通サイズ』。　あ、ああれ…？（汗）
…はい。おなかいっぱいです。（チーーーーン）

時刻はまだ17時半。**夕食終了。**――はやくも路頭に迷う……。

リ「さー、これからどうする？」
つ「ど、どうしよーね…； とりあえず、車に戻りながら考えましょう」

車に戻っても案など出て来やしません（苦笑）
目的もなく出発。
ふと目にとまったのは、観覧車。
この観覧車、香川上陸前の船内からも見えていた、デパートかなにかの屋上遊園地っぽい観覧車です。
…することもないので、とりあえずソコを目指してみました（笑）

見知らぬ土地。しかも夜で、地図もない。迷いながら辿りついたそこは**でっかい本屋さん。。。**
ちなみにこちら。http://www.miyawakishoten.com/

つ「なんじゃーこりゃー！！！」

いかにも子ども向けな屋上遊園地。迷った末、乗りましたよ、観覧車。

つ「あああごめんなさいいぃぃ（汗） うん、なんも見えんね。なんの足しにもならんね（滝汗） あうあああ…」
リ「うん、だからー、高いだけなら大丈夫なんじゃって。うん、ほうじゃね」

あああ。執事の冷たい視線が私をさいなむっ……！！！（滝汗） 私が姫なのにー！（苦笑）

その後、書店フロアで一時間ほど立ち読み（苦笑）
怒っちゃダメですよー。ちゃんとリチャードが一冊お買い上げしてますから！

それでも時刻は19時半。――**再び路頭に迷う……。**

再びあてもなく車に乗り込み、なんとなく高松駅付近。

リ「で、どうするん？」
つ「うー…。じゃあとりあえず、西に向かいましょう。南下or北上はそれから決めるってことで」

コンビニで生チョコ雪見だいふく食べたり、車にも燃料補給してやったりしながら、一路みかんの国（愛媛県）を目指します。

リ「おお、道後！ いいねー。温泉」

ふと目にとまった看板で、行き先が決定（笑） みかんの国の中の、お湯の国へと向かうことになりました。
途中、仮眠もとりながらも、日付を越えた頃には道後に到着。
深夜に入れるわけもありませんでしたが、温泉街をぐるーっと偵察？中、素敵な月を見ることが出来ました♪
さらに、迷い込んだせまい路地で犬が…（汗） 進行方向に逃げるんじゃないっ！！（苦笑）

リ「これはもう、寝れる所を探そうや」

――しかし意外と見つからないのですよ。
結局、松山港まで行き、そこのコインパークで車中泊。朝を待つ事になりました。

ボォーーーー！！！という、始発フェリーの警笛の前後から、人の動く気配がぼちぼちしてきます。
しかし、そんなものがあろうがなかろうが、私は眠れません。寝た記憶はあまりありません。

リ「さぁーて、行きますか」
つ「ねえ、ここってラジオ入るんじゃない？」

そう。気付けばココは広島の対岸。愛媛リスナーさんもいるので、聞こえるはず…！

「「おおおーーー！！」」

聞こえたー！　耳慣れたアナウンサーさんの声☆　なんか、異国に居るのに帰ってきた気分（苦笑）　っか、落ち着く！（笑）
…ラジオバカ二人ですw

程なく道後温泉に到着☆
どっかのサービスエリアで顔くらい洗えたら…と、お風呂セットを持って来ていたのは本当に幸いでした♪

まさか温泉…しかも、『**道後温泉**』に入れるとはっ！！！

寝不足＋空腹という状況で長湯をすると、倒れるおそれがあります（汗）
昔やっちゃってヤバかったことがあるので、今回は慎重に――というか、なるべくあっさりと入浴をすませました。

さすが！
お風呂上りの肌は、あったかつるすべです～（きらきら**）

せっかくだし、朝ゴハン食べれるとこを探して、ついでに観光でもしましょうか☆

観光地らしいというか、温泉街らしいというか、なんだかそんなかんじのアーケード商店街を抜けると見えてきたのがこの素敵な『道後温泉駅』。観光用の坊ちゃん列車の始発駅！　もちろん、通勤･通学の市民の足としても普通の路面電車が走ってます。
二人して、異様にここで撮影タイム (笑)
ここから、大きな商店街に向かって、普通の電車に乗って移動。

広島で言うところの『本通り』みたいな場所でした。
時刻は午前１０時前。
開いてるお店 (特に飲食店) って、あんまりないです； もう少し待てば開くけれど、もうおなかぺこぺこ… (泣)　みたいな。

つ「米が食べたいー」
リ「わがままゆうな」

カフェっぽいお店で、まったりパン食*　おいしかったからよし！！ (苦笑)

燃料補給で元気も出たことですし、戻りは歩いてみようか。
ということで、商店街から続く赤レンガの道をぽくぽく歩きながら温泉街へ向かいます。

ここがっ！！　す、ステキ…！！
大正浪漫にハイカラさんルックで歩きたい町並みなのです♪

これ、高校の門です…！！（手前のも奥のも！！）

なんすかこの素敵な校門！！

っていうか、校舎はどこ？！（苦笑）

ここに通ってたら、この素敵な門だけでも
自慢できると思います。うらやましい…！！！

ビルに挟まれた赤レンガのカフェ。

なにこの雰囲気の良さっ！！！？

これは民家じゃないよね？
『CLOSED』って出てるからお店ですよね？？

せまく、奥へと続く入口。
ステキだー！（きらきら**）

赤レンガから少しそれた路地のこのお店も素敵な構えです*

これも、なんの建物かわかんないけど素敵（笑）

赤レンガ通り（本当はきっともっと素敵な名前があると思われ）を抜けると、普通の街角。

つ「どっちじゃろー？　こっちっぽいよね？　電車できたんじゃけ、線路沿いに歩いたら戻れるよね？」

そんなノリです（苦笑）

つ「うあ！　なんか素敵！」

リ「おー。いいねぇ」

路面電車の、おそらくは市内線と郊外線が分かれる駅。
いや、郊外線の最初（最後）の駅？

ビルの隙間、民家の間。

なんつーとこに駅があるんだっ！（苦笑）
でもこの絶妙感がたまりません！

これまた運のいい事に、少し待ったら丁度電車が来たんですよー！

つ「なにこの短足ポスト(笑)」
リ「どれどれ？　ほんまじゃ。こんなん見たことないわー」

つ「おお！　みかんパンだって！　なんかおいしそう？！」
リ「買って食べんちゃい」
つ「さっきゴハン食べたばっかー！(ムキー)　ああでも、いよかんアイスは食べて帰りたいねぇ(きらきら**)」
リ「食べんちゃい」
つ「おう、食べるわーい！」

歩きながらの会話抜粋。
妙な外人さんとすれ違ったり、その人と再びすれ違ったり、
某獅子マンションの置物についての話題だったり、なんだか色々
話しながら歩いていると、来ました！！！

坊ちゃん列車！！！

リ「いいなぁ。乗りたー(うっとり)」
つ「またいつか、コレ乗るのを目的に来ましょーよ！
つーか、ハイカラさんルックで乗りたいー！」

――リベンジは果たされるのでありましょうか…！？

車にもどると同時くらいにぽつぽつと落ち始めた雨。
なにこの奇跡！！(笑)
打って変わって雨の道後――お湯の国をあとに、さすがに広島へ向いて移動開始です。

ここまで帰ったんなら＆行きが船だったので、『しまなみ街道』から帰ろうかという事に決定。
途中お土産も入手しつつ、再びリッチウェイ(高速道路)へと突入です。

雨が上がったのは、しまなみ街道に入ると同時くらいでしょうか。
時刻は13時。入口からスグにあるサービスエリアで昼食です。
念願の米！！　うまうまエビ天丼！(笑)
すっかり雨が上がった瀬戸内海と、これから通る橋を見ながらの昼食タイム。

つ「あ！　いよかんアイスまだ食べとらんよー！」

食後で体があったまっててもー、風が冷たくてもー、ココを逃したらいよかんアイスは偽物です！(いや、偽物じゃあないから/苦笑)

リ「人が食べよったら食べたいよねー(笑)」

二人でうまうま**(笑)

全線開通したしまなみ街道を通るのは初めてです。
昔、家族で旅行したときには、まだ途中の道はできていなくて、島ごとに地道に一度降りなければならないという感じでした。
もちろん、全線開通しているこのときには、高速道路にしてはゆっくりまったり快適に通過。
海に出たり島の上だったり、家が見えるところもあれば、みかん畑しか見えないところもあり、遠くの島影もくるくると表情を変えるので、案外短い行程でしたがなかなかに楽しかったです♪

こういうときこそ姫待遇が生きますねー♪　いやぁ。よかったよかった(笑)

しまなみ街道を渡りきり、いや正確には街道の途中からではありますが、広島まで帰ってきました。
しかしそこはまだ尾道――坂の国です。

つ「尾道っていいよねぇー。歩くと楽しいんよねぇー。さくらアイスがおいしいんよねー！(きらきら**)」
リ「どうするー？　まだ時間あるけ、寄れるよ？」
つ「え！　う、あ、どうしよう…」

行きたいけど、私の一存で決めて良いのかっ？！
主体性のない人間同士で旅をすると、行き先が決まりません(苦笑)

つ「あう…う、じゃあ、寄る。…行く。」

寄り道決定。

時刻は15時頃、尾道駅付近に車を置き、坂の国へと迷い込みに行きます。

リ「電車を下から見上げられる場所があるんよー♪」
つ「なんと！」

執事に案内されたそこで、まさに丁度電車が通過するのを見上げました…！

つ「おおおーーーー！！！　すごいっ！！」
リ「じゃろー♪」

テンション上がります(笑)
寄る年波を押さえつけて坂道をぐるぐる歩き回ります。
以前、友人との旅行で来たことがあるので、ちらほらと見覚えのある風景が出てくると、なんだか嬉しい*

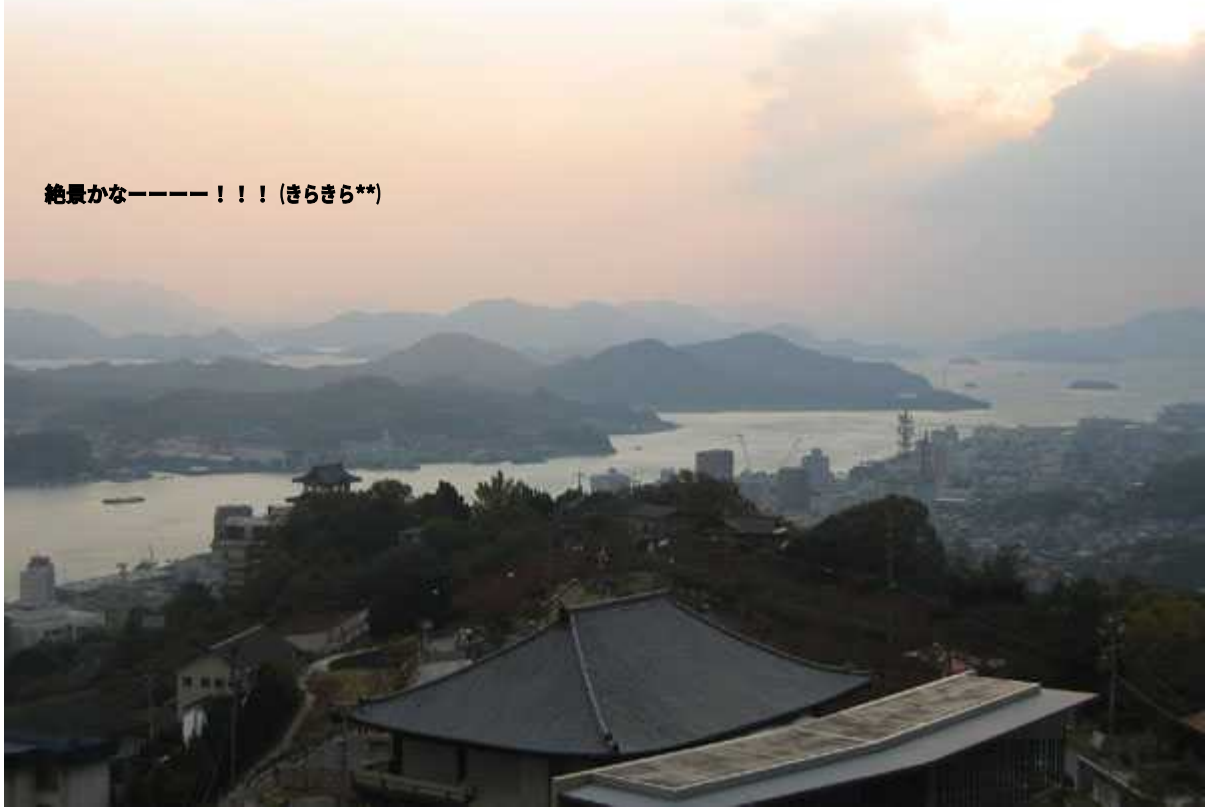
つ「ああ！！　居たいた！　これこれ(笑)」

お猿のかご屋。

遊具だと思われますが、放置されて久しい感じですよね。
坂の中腹か少し上あたりにいます。
以前に見つけたときにも、写真を撮った記憶があります(笑)

お立ち寄りの際は、探してみてやってください(苦笑)

ぐるぐる歩きまわり、ふらふら遊びながら、息を切らしつつ（苦笑）辿りついた頂上――千光寺公園。
その展望台！
頑張って登ったら、ちゃんと報酬は用意されているのですっ！！！



しかし、この。景色も長くは続きません。
雨降らすぞーーーー。とばかりの黒雲が、北側からじわじわとせまってきていたのであります！

降られる前に降りなくてはです。
疲れていたのもありましたが、ロープウェイにも乗ってみたいですよね。

というわけで、下りはらくちん♪　いたしました。執事は初・坂の国ロープウェイだったそうです。

おろしたての靴で歩き回っていたせいなのでしょう。
実は私、この日は朝から歩くと足の裏が痛くて、何度も立ち止まっていたのですが、坂道を歩き回ったのがトドメだったようです。
ゆっくり歩いて待ってもらわなければ、もう歩幅を合わせて歩くことはできませんでした。
ロープウェイを降りてから車までの道のりは、雨に濡れる恐怖を背中にひしひしと感じながらも、ゆっくり歩いての道のりでした。

またしても見事なまでのタイミングで、雨が本降りになったのは車を発進させた後でした！

つ「さっすがリチャード」
リ「まかせときんさいやー」

リチャードは、お日さまと仲良しこよしなのだそうです（笑）

尾道を発ったのは17時ごろ。途中休憩も挟みながら高速をゆき、安芸の国･広島に帰りついたのは夜。
時刻は20時前。夕食にもいい時間です。

リ「なんか食べてく？」
つ「うん。いいんでない？」
リ「なんにしょーか？」
つ「うーーーん……」

主体性のない二人です；

結果選んだのは回転寿司（笑）
しかし、入ってから気付いたのですが、それはそれは素晴らしい選択だったのであります！！

その店は、『おんまく』という名前。これは、今治弁で『大きい』とか、そういった意味があるのだそうです…！！

すごっ！　今治って、半日前にいたところだよっ！　綺麗に締まったよ！！

執事が私を自宅まで送り届けてくれたのが22時。
出発から丁度36時間後です。

またもやこんなところでの報告ですが、第1弾の素敵廃校。
なんと、修復されています…！！
ある日通りかかったら、ちゃんと建ってたんですよっ！
どうやら、保存対象の文化財か何かのようです。
嬉しいですねー。また行きますか（笑）

と、定時報告？も入れたところで、この旅のレポートは終わりです。
新しい旅友を迎え、放浪度も増した瀬戸内の軌跡はいかがでしたでしょうか？
写真の少ない、駆け足の文章ではありますが、楽しんでいただけたならば幸いです。

世界が広がってしまいました。
今度はいつ、どこへ向かってさまようのでしょう？

目にとまる、小さな素敵をたくさん発見できるような、そんな旅が次回も出来たらといいなと願って、放浪記第3弾、終わらせていただきます。

一つの旅の終わり。それは、次の旅の始まりの予感。新しい夢の扉が開く・・・

Powered by FC2.com